防災イベントで森づくり紹介

間伐材パズル体験や木の幹の展示など

昨年11月2日、当協会は広島テレビ放送株式会社主催の「いま動こう!みんなで防災フェス2025」に出展しました。このイベントは、体験を通じて防災について知ってもらうことを目的に開催されたもので、約6千人が来場しました。

森林の機能について説明する職員

当協会のブースでは、広島県産ヒノキの間伐材を使用した「組子細工コースターパズル」の体験をメインに、「かんほきょうの森」での活動を紹介するポスターの掲示や、「かんほきょうの森」から採取した木の幹の展示と紹介などを実施しました。

当協会が取り組んでいる「かんほきょうの森」づくりは、「水源涵養を基軸とした、森林が有する多面的機能が持続的に発揮すること」を目的としており、森林の多面的機能に土砂災害防止や洪水緩和などがあるため、防災の視点で森林に関心を持ってもらうことを出展のねらいとしました。

パズル体験では、時間帯ごとに設定した予約枠が全て埋まる91人に参加していただき、子どもから大人まで幅広い世代の方に興味を持ってもらいました。体験後は、形の違う3種類のパズルから好きなものを選んでもらい、プレゼントしました。

パズルの体験者

イベントでは、「パズルの木の種類は何ですか」「森林と防災は関係あるのですか」などの質問も多くあり、森林に関心を持ってもらえたのではないかと思います。森林と防災の関係については、本紙3面の「かんほきょうの森だより③」をご覧ください。

今後もイベント出展などを通じて、参加された方に森林を身近に感じていただけるような取り組みを進めてまいります。

（経営企画課　八島　聡美）

Decarbonization ECO デコ活

⑯株式会社やまだ屋

食品ロス削減の新たな一歩

賞味期限の延長と廃棄物の再利用を推進

今回は、株式会社やまだ屋の島田敏行さん、末益千恵子さんに、食品ロス削減に向けた取り組みについてお話をうかがいました。

全国で食品ロス削減に向けた取り組みが広がる中、もみじ饅頭を中心に、伝統と革新を融合した和菓子づくりを続ける広島の老舗製菓メーカーが、独自の施策を進めています。まず、包装資材のバリア機能を高め、原料の配合を見直すことで、賞味期限を従来よりも約 5 日延長しました。これにより、販売期間を過ぎた商品の返品ロス率が 2%まで下がり、廃棄される食品の削減が期待されています。

さらに、卵の殻や小豆の皮、規格外品など、これまで産業廃棄物として処理していたものを、肥料として再利用する仕組みを導入しました。2024 年 8 月から開始されたこの取り組みでは、1 年間で約 88 トンの廃棄物を有効活用しました。加えて、小豆の皮に含まれる食物繊維やポリフェノールに着目し、健康価値の高い原料としての活用も進めています。

やまだ屋のもみじ饅頭

株式会社やまだ屋は、これまで「ひとつひとつに思いを込めて」という理念のもと、菓子製造を行ってこられました。今後は「資源循環型の生産体制を構築し、食品ロスのさらなる削減を目指して持続可能な社会の実現に貢献したい」としており、今後の展開に注目が集まっています。

私たちの暮らしに不可欠な食品事業者の取り組みについて、関心を持ち、買う、選ぶことで一緒に CO_2 削減を目指しましょう。

工場見学が可能な「おおのファクトリー」

（脱温暖化センターひろしま）

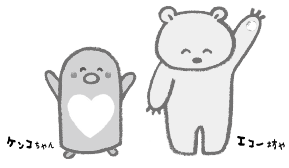
日環協・環境セミナー全国大会で最優秀賞を受賞

当協会・環境生活センター微量分析課の井原名美技師が、10 月 16 日に札幌市で開催された「2025 年度 第 32 回 日環協・環境セミナー全国大会 in 蝦夷」において「農薬類（シマジン、チオベンカルブ、有機リン）における分析効率化の検討」というテーマで発表し、最優秀賞を受賞しました。

今回の発表では、効率的で公定法以上の精度を有する分析法について報告しました。

当協会では、今後も環境分析における公定法などのさまざまな問題点などを検討し、お客様により良いサービスを提供するため業務の改善に努めてまいります。

令和7年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金（旧　健康感謝募金）は、昭和35年から実施し、令和7年度で66回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金総額（円）

36,199,448円

（令和７年 11 月末実績）

市町名	募金額（円）	対前年実績比（%）
府中町	1,138,250	85.3
海田町	1,372,520	69.1
熊野町	1,411,200	106.5
坂町		
江田島市	1,573,750	98.0
竹原市		
大崎上島町	279,700	99.0
大竹市	2,064,690	91.2
廿日市市	2,788,071	85.7
廿日市市大野	1,992,420	79.2
廿日市市佐伯	269,865	83.6
廿日市市吉和	39,100	94.7
廿日市市宮島	176,200	94.8
安芸太田町		

市町名	募金額（円）	対前年実績比（%）
北広島町	948,770	94.7
安芸高田市	1,500,179	84.4
東広島市	3,882,699	95.5
三原市	1,234,368	85.0
世羅町	595,880	81.3
尾道市	3,081,982	74.0
福山市	7,741,480	93.0
府中市	981,290	97.9
神石高原町		
三次市	1,401,821	81.7
庄原市	1,664,760	76.0
その他	60,453	99.9
合計	36,199,448	81.6

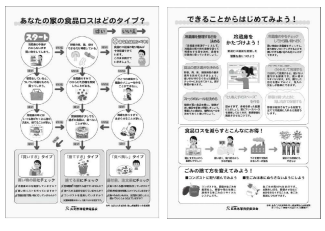
市町別一覧表

※ この表は、令和7年11月末日現在、各市町公衛協から募金委員会に報告のあった募金額を記載しています。

環保協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【食品ロス削減事業】

脱温暖化・快適な環境づくりの一環として、「食品ロス削減（2000 年度と比べて、2030 年度に半減）」を目的に、食品ロス削減に取り組む公衛協を支援します。

食品ロスタイプ診断パネル

質問に「はい」、「いいえ」で答えて、食品ロスのタイプ（完璧、買いすぎ、捨てすぎ、食べ残し）を診断します。